

輝きなんせ鳥取

KINANSE TOTTORI

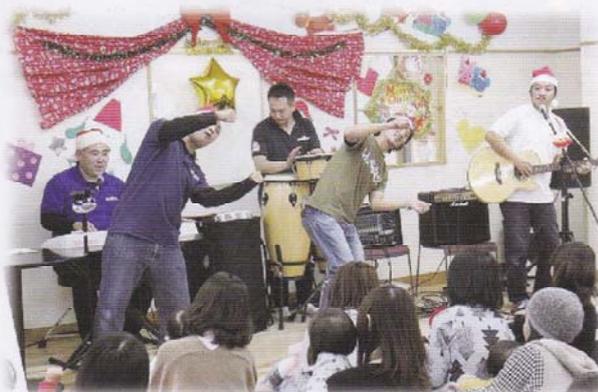
特集 輝ひとく女と男ひとにインタビュー



Tottori Mama's 代表 中井みずほさん



ジャングル☆ジム活動の様子



— 目次 —

- 輝ひとく女と男ひとにインタビュー……………2～3P
- 「輝なんせ鳥取」NEWS……………4P
- 女と男のハーモニーフェスタレポート……………5P
- 図書紹介……………6P

ひとひと 輝く女と男にインタビュー



Tottori Mama's 代表 中井 みずほ さん

「女性にゆとりを みんなのやさしさを こどもたちへ」をコンセプトに、鳥取の女性がより一層Happyになれるようなイベントを開催している団体『Tottori Mama's』。その代表であり、2児の母親でもある中井みずほさんにお話を伺いました。

Q 『Tottori Mama's』の概要は？

母親同士で悩みを相談したり、一緒にご飯を食べたりする「OPENDAY」という月に1度の企画や、子ども連れで参加できるヨガや洋裁教室、ワークショップなどのイベントを開催しています。

Q 結成したきっかけは？

5年前に離婚をし、同じシングルマザーとして自立し生きている方のご縁で、ベビーマッサージセラピスト資格を取得し、自宅教室を開業しました。教室で母親と関わる中で、多くのママが、子育ての悩みを相談できる相手がおらず、“孤独”を感じていることが分かりました。そこで、母親同士で悩みを相談し合えるような場所を作れば、孤独を解消でき、ママも笑顔になれるのではないかと思い、『Tottori Mama's』を結成しました。

Q やりがいを感じるのはどんな時？

イベントが終わった後に、参加者の表情が、来た時より笑顔になっている時や、「また来るね」とお声がけいただいた時に、やりがいを感じますね。

Q 今後のTottori Mama'sの展望は？

今までの活動も続けつつ、企業とママをつなぐ橋渡しのような存在になりたいです。例えば、母親の意見を企業に伝える場を設け、それが商品開発のアイデアなどに繋がることなど。

外の世界（企業）と繋がることで、子育て中のママが自身の存在意義や喜びを感じられるといいですね。

Q 子育て中のお母さんたちへメッセージを。

私自身も子育て真っ最中のママです。子育ては、悩みが尽きませんが、悩むことは、我が子を想う愛情が自分にはあり、自分自身も親として、人として、子どもに育ててもらっているのだと思っています。そう！悩むことはマイナスばかりではありません。でも、子どもにとって、成長するための一番の栄養はママの笑顔だと思っています。一人であまり気負わず、完璧を目指さず、身近な人たちに頼って甘えて、ママがパンクしないように日々過ごせることを願っています。



月に1回開催している「OPENDAY」の様子。

Tottori Mama's Facebook : <https://www.facebook.com/tottori.mamas>



鳥取市男性保育士会
ジャングル☆ジム 代表
中嶋 滋さん

男性保育士同士の交流と保育技術の向上を目的として2003年に結成されたジャングル☆ジム。鳥取市内外のさまざまなイベントに参加。コンサート以外にも絵本の読み聞かせなど幅広い活躍をしておられます。昨年から代表になられた中嶋滋さんに話を聞きました。

Q 「ジャングル☆ジム」の概要は？

メンバーは現在26人の大所帯。だからコンサートは、その日に参加できるメンバーでその都度構成しています。依頼主の了解があれば1人でも公演しますよ。公演回数は多い年で37回。最近では年20回前後に抑えています。

Q 結成したきっかけは？

僕が保育士採用された15年前は男性保育士の社会的認知度が低く、正規採用の保育士も少なかった。僕自身も「(男性に)子どもを預けるのは不安だ」と言われたり、何か困っていることがあっても、男性保育士が少ないため、悩みを相談できる人がいなかったり。だから最初は、鳥取で働いている男性保育士の情報交換のための飲み会からスタートしました。そこから、男性保育士の認知度を上げ、正規採用の道を広げるために何かできることはないかということで、ジャングル☆ジムが結成されました。

Q 男性保育士としての職場環境の現状は？

まず、男性職員専用のトイレがない。一応大人の男性用便器はありますが、トイレの中には子どもも女性職員も入ってくるため、使いにくい。男性専用の更衣室もないからプールの着替えなんかはすごく気を遣いますよ。新しい保育園にはそういった設備が整っているところもありますが、職場環境はまだまだ「男性職員がいる」という現状に追いついてないと感じます。

Q 男性保育士は子どもや保護者に人気？

少しずつ認知され受け入れられてきたことで、

男性保育士というだけで希少価値があるという雰囲気は感じます。「男性なのにピアノが弾ける、すごい！」というふうに、女性と同じことをしてもプラスに評価してもらえる場合もあります。ただ逆に、男性だから力が強い、運動が得意などの先入観から期待され、そのプレッシャーで押しつぶされてしまうケースもある。もっと男性保育士の人数が増え、男性にもいろんな人がいるんだって思ってもらえるようになるのが理想ですね。

Q 「ジャングル☆ジム」の今後の展望は？

今年から導入している3~4人でのユニット制はこれからも続けていきたいですね。今後は音楽のスキルを上げたいメンバーや、手作り遊具を作りたいメンバーなど、それぞれやりたいことでグループを作って、新しい取り組みにチャレンジしていきたいです。そのような取り組みが、自分たちの更なるスキルアップや、新卒などの若手男性保育士も参加しやすい雰囲気作りに繋がればいいなと思っています。



年に1回自主開催しているサマーコンサートの様子。

* 輝なんせ鳥取 NEWS *

アンガーマネジメント講座

～怒りを上手にコントロールして、前向きな私になる方法～

10月2日
鳥取市福祉文化会館

講師：内田 美佐さん（ヒ～リングアトリエ創美館代表）

怒りと上手に付き合う方法について、28名の参加者が学びました。

内田さんはまず、「アンガーマネジメントとは、怒ることと怒らないことを区別していくことであり、怒らないことではない」と強調。そして、怒りが発生しそうな出来事が起こった時は「その出来事を手のひらに書いてみる」「頭の中で計算をしてみる」などの方法を説明。受講者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

※アンガーマネジメント…怒りをコントロールする技術



オトナ女子のための再就職・転職セミナー

～輝く私になる方法～

編集委員レポート

12月10日
鳥取市福祉文化会館

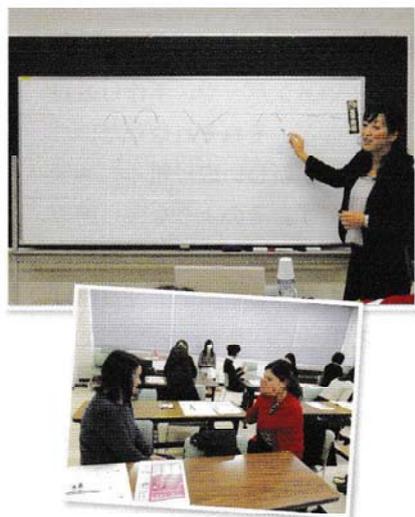
講師：手島 田美子さん（キャリアコンサルタント）

30代から40代と、私も何度も面接を受けたが、あまり深く考えず面接に臨んでいた。今思えば、無謀だった。

本講座では面接を受ける際の第一印象の重要性や、ハキハキ、ゆっくり話す自己PRの仕方などを紹介され、とても分かりやすく、「あの頃聞いていれば」と思う内容ばかり。また、「キャリアとは仕事のスキルのみならず自分の人生そのもの」。例えば、「今は育児で忙しくて出来ない事でも、一年後には出来ることをアピールする」など、今更ながら“目から鱗”であった。

とはいえ、育児や介護など、大人女子には超えるハードルは沢山有り、本人の働く意欲に影響する場合もある。家族の協力や、行政などの各種サービスの充実も、安心して面接や仕事に向かえるために重要と感じた。

(F 編集委員)



〈今後の輝なんせ鳥取講座〉 ※要申込。お気軽にお申し込みください♪

日程	講座名	場所	講師	定員
3月5日(日) 10:00～11:30	女性のための法律基礎講座 ～知って安心! もしもの時、 自分らしい選択をするために～	鳥取市福祉文化会館 3階研修室1	磯部 紗希さん (菜の花総合法律事務所弁護士)	24名
3月12日(日) 14:00～15:30	鳥取藩の参勤交代と女性たち	鳥取市福祉文化会館 3階研修室1	来見田 博基さん (鳥取県立博物館主任学芸員)	24名

第24回女と男とのハーモニーフェスタを開催しました!

10月15日(土)女と男とのハーモニーフェスタを県民ふれあい会館で開催しました。
午前中のワークショップの後、午後からは男女共同参画推進会議による朗読劇、
そして南野忠晴さんによる講演会が行われました。



開会式



榎 直子 実行委員長



深澤義彦 市長



大会宣言
左から木村 秀利(ハングルコスモス)
青野 佳子(鳥取友の会)

朗読劇



男女共同参画推進会議とっとり
「ジェンダーって難しい?」

講演会



講師:南野忠晴さん
「男女が学ぶ新しい家庭科勉強法
～正しいパンツのたたみ方知ってますか?～」



絵手紙コンテスト

家庭、地域、職場などあらゆる分野で、互いが認め合い、性別に関わりなく自分らしい個性や能力を発揮できる社会をイメージさせる絵手紙を募集しました。

平成28年度は数多くの作品の中から以下の2作品が最優秀賞として選ばれました。入選者14名のみなさまは10月15日(土)に開催された「第24回女と男とのハーモニーフェスタ」の会場において表彰されました。



《最優秀賞2作品》



大西瑠美さん



山本栄美子さん



受賞者のみなさん

『そして<彼>は<彼女>になった 安富教授と困った仲間たち』

細川 貂々 著 集英社

この漫画の主人公は、実在の人物である、“やっくん”こと安富教授と共同研究者である“ふうちゃん”。

やっくんは「一流の大学に入って一流の会社に入る」という価値観をもつ、ごく普通の家に育ち、ふうちゃんは自由な雰囲気の家で育った。2人は、母親を喜ばすためにそれぞれ家庭を持つが、自分の心に蓋をするような生活が息苦しくなり、2組とも破局を迎える。自分たちを縛っていたのは「母」であり「嫁」であり「夫」だった一。

本作は、2人が互いに励まし合いながら、自分が楽に生きられる方法を見つけ出していく過程を描いている。本来、自分を守ってくれるべき母親から2人が追い詰められていく様子や、男性として生まれ育ったやっくんが、自分の中に“女の子を閉じ込めてきた”ことに気づき、女性として美しく変貌していく様子が興味深かった。自分らしく生きようと闘っている人にエールを送る本である。



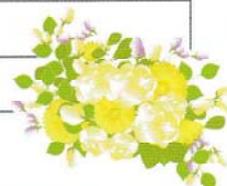
(K編集委員)

お知らせ

鳥取市男女共同参画かがやき企業[★]が認定されました!

男女共同参画及び女性の活躍推進に理解と意欲があり、仕事と家庭の両立に配慮しながら、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業ということで審査の結果、以下の企業が「男女共同参画かがやき企業」として認定されましたのでご紹介します。

企業名	住所	業種
イナバ電気株式会社	鳥取市古海444番地5	電気設備工事業
千代三洋工業株式会社	鳥取市晩稻308	製造業
株式会社 高千穂	鳥取市高住8-1	建設業
有限会社 トータル電機	鳥取市南栄町30-8	建設業
株式会社 西村組	鳥取市源太14番地2	建設業



■お問い合わせ先 鳥取市男女共同参画課(0857)20-3166

鳥取市男女共同参画センター

「輝なんせ鳥取」

〒680-0022

鳥取県鳥取市西町二丁目311番地
(鳥取市福祉文化会館内)

TEL / FAX (0857) 24-2704

メール: danjyo-center@city.tottori.lg.jp

鳥取市ホームページ: <http://www.city.tottori.lg.jp/>

Facebook



編集後記

「女と男のインタビュー」は連日で取材させていただいたお二人でしたが、今よりもこれからをもっとよくするために、いろいろなことを考えながら、前へ進もうとされている姿が共通しているのだと思いました。お二人からは、自分だけじゃなく周囲の人たちや仲間のために何かしよう、何とかしようという力強い思いがとても伝わってきたのでした。(センター職員)